

bingo!CMSバックアップ方法

ここではbingo!CMSで作成したサイトのバックアップ方法をMySQLを例にしてご説明します。

1. データベースのバックアップ

1-1. コマンドを利用してバックアップを取る

sshやtelnetを利用できるサーバの場合、以下のコマンドによりバックアップを取ります。

sshやtelnetを利用出来ないレンタルサーバの場合は、次の1-2にてバックアップを取ります。

【PostgreSQLの場合】

```
pg_dump -u DBアクセスユーザ名 -p パスワード データベース名 > バックアップファイル名
```

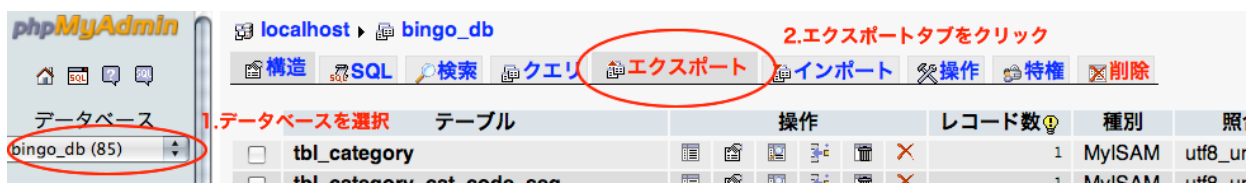
【MySQLの場合】

```
mysqldump -u DBアクセスユーザ名 -p パスワード データベース名 > バックアップファイル名
```

1-2. phpMyadmin、phpPgadminを利用してバックアップを取る

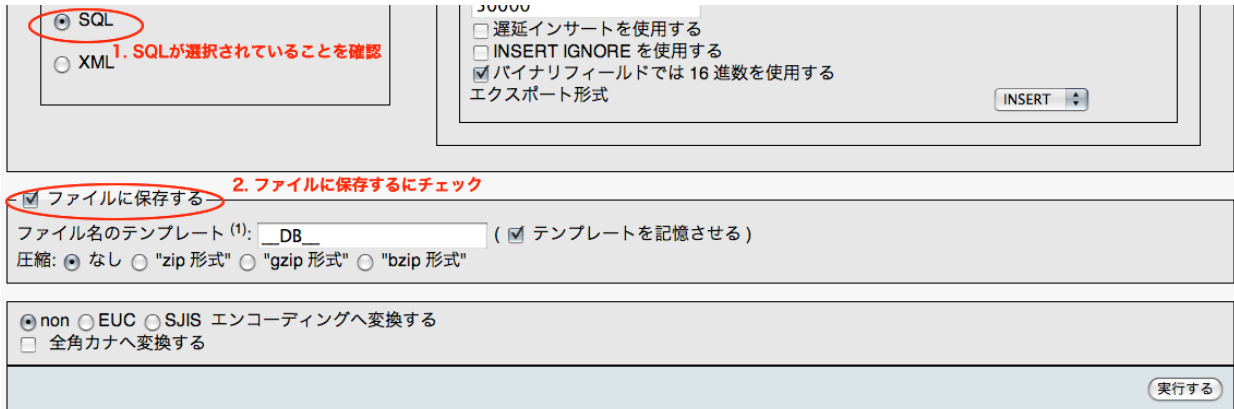
mysqladmin、またはpgsqladminといったツールがある場合は以下の方法でバックアップを取ることが可能です。以下ではphpMyadminでの説明を致しますが、phpPgadminの場合も手順は同様となります。

1. phpMyadminにログイン後、ページ左「データベース」プルダウンメニューにてご使用のデータベースを選択し、図の「エクスポート」タブをクリックします。



2. 次にエクスポート画面にて形式をSQL、そしてページ下部の「ファイルに保存する」にチェックを入れ実行します。

▼ファイル保存ダイアログが表示されますので適当なファイル名にて保存してください。



SQL XML 1. SQLが選択されていることを確認

遅延インサートを使用する
 INSERT IGNOREを使用する
 バイナリフィールドでは16進数を使用する
エクスポート形式

ファイルに保存する 2. ファイルに保存するにチェック

ファイル名のテンプレート (1): (テンプレートを記憶させる)

圧縮: なし "zip 形式" "gzip 形式" "bzip 形式"

non EUC SJIS エンコーディングへ変換する
 全角カナへ変換する

2. bingo!CMSファイルのバックアップ

FTPソフトを利用し、Webサーバー上のbingo!CMSがインストールされているファイル/ディレクトリを全てダウンロードし保存します。

以上でバックアップは完了です。